

# 物価高騰への支援策は

**答** 飼料高騰対策補助金を支給します

## 農畜産業支援政策は

**問** 物価高騰などの情勢が続く中、農畜産業を支えるための支援策をお示しください。

**町長** 飼料高騰対策補助金を支給したいと考えています。また、補助金による支援だけでなく、知識の習得によるリスク回避や、個々の経営強化を図るため、アグリセミナーの開催を継続してまいります。

**問** 日本各地でブランド米が開発、販売され、産地間競争は日に日に激しくなっている中で、多古米のさらなる付加価値向上や認知度向上に向けた取り組みは。



認知度向上に向けて

**町長** 現在まで行ってきた取組事例として、多古米グランプリの開催、ワールドすしカップへのオフィシャル米提供、各種イベントにおける積極的PRのほか、多古米の地域団体商標登録、多古米ブランプリ米の商標登録、全国米食美コンクールへの挑戦など、多岐にわたり多古米の付加価値向上と認知度向上に向けて努力を続けてまいりました。また、最近ではおかず選手権の開催や千葉工業大学の学食とのコラボレーション、ペリエ千葉でのおにぎり販売、田原俊彦さんのユーザー企画への多古米提供など、このような事業を継続するとともに、民間企業と連携した新たなブランド展開を模索してまいります。

## 拠点整備計画を進める理由は

**問** 拠点整備計画は、5月の臨時議会で事業費の不足分が補正予算に計上され否決。事業費の不足理由として物価高騰があげられ、為替のドル円相場が当時3か月の中で10円近くも円安、約24年ぶりの円安水準となったことから円安の影響で

# 拠点整備事業ができない場合の国からの交付金は

**答** 交付決定を取り下げします

## 拠点整備計画については

**問** 国からの交付金が採択された経緯と制約は。

**町長** 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）として本年3月30日付で、事業費の2分の1、1億9965万円が交付決定されました。交付後、速やかに事業着手し令和5年度中に完了することが求められています。

**問** 成田空港線からの周辺対策交付金を地域振興策として利用出来ないか。

**空港地域振興室長** 観光及び産業振興に資する事業は対象であり、交付金の活用は十分考えられます。

**問** 資材費、人件費の高騰により業者からの値上げに対して5月15日の臨時会で補正予算を計上したが、7対6の反対多数で否決されました。拠点事業ができなくなることに對しての影響は。

**企画政策課長** 事業が執行できないということでは、その旨を国に伝えて交付決定を取り消しいただきます。



議会の対応は

**問** 否決した議会の対応をどのように考えているか。

**町長** 田園都市国家構想という国家プロジェクトの中で全会一致で承認を得た事業が出来ないということになると、多古町、そして町議会の社会的信用はなくなり、これから進出を考えている企業の不安をおおきく懸念を示す企業も出てくるものと思われまます。このことは町の発展を損なうものであり、町民が新拠点を期待する声とは違う方向に進んでいるのではないかと懸念しております。議会の議決は議員一人ひとりの判断によるものなので、その判断には直接言えませんが、執行す

萩原 宏紀 議員

所要時間 62分



建築資材が高騰しているというの想像できますが、あらためてこの事業を進める理由を伺います。

## 産業経済課長

地域活性化拠点整備事業は、地域の課題解決や経済波及効果を町にもたらすために官民連携の手法で取り組んでいくもので、その拠点として施設が必要であることから、今回工事の契約承認議案を提出しております。町民の方々にこれができてよかったと感じてもらえるような事業にしてまいりたいと考えています。

**問** この事業計画は、単に収益を求めただけのものではなく多古町の課題である人口減少、少子高齢化による地元の教育機関の存続問題、農業者の収入低下、産業の担い手、人材不足等を、パートナー企業との連携により解決していくものだと解釈しています。パートナー企業との連携により町へのメリットは。

佐藤 幸三 議員

所要時間 43分



る町としては非常に遺憾でありました。今後は町民の声をどう取り上げるか議会の中で検証していただくことだと考えております。

**問** 5月末(株)多古(道の駅多古)の取締役会で拠点整備事業に約9100万円を投資するという結論がでました。よって町は国の交付金と空港周辺交付金等を活用して当初予算4億8000万円で建設ができるのではないですか。

## 産業経済課長

契約は当初予算に収まるように上程してあります。ステークホルダーとなる(株)多古が自社の利益、あるいはやらないリスクを考えてこの事業に参入するという決断をいただいたものであり、官民連携でこの事業をすすめていけると考えています。

**問** 本町は今、圏央道開通、空港の機能強化により近隣市町が羨むほどの好条件がそろっています。町の発展に今が最大のチャンス。



農業分野の課題解決へ

## 産業経済課長

良品計画が出店することによる町民の生活利便性の向上。町外から多古町に買物に来ていただくことによる経済効果。良品計画は世界に500店舗以上、国内も500店舗ほどあり、そちらを活用して町の取り組みをPRしたり、町の農産物あるいは加工品の販売の際に販路をかわらせていただけたらというところにも魅力を感じています。また、商品開発力や企画力などの知見を多古町に取り入れさせていただき、今後農産物の付加価値化に努められると思っています。また、良品計画は都市と農村をつなぐ取り組みも行われていて、観光や農業体験などいろいろな分野でほかの地域から人を呼び込めると期待しています。そうすることによって、経済効果とはまた別に、移住・定住などいろいろな効果が出てくると考えています。

執行部並びに議会、是々非々で丸となってこの事業を進めていただきたい。再度町長の決意を。

## 町長

この経済活性化拠点事業は、今後の本町の発展に欠かせない事業と強く考えます。圏央道開通と空港の機能強化によって、多くの人の流れが見込まれる中、何もしなければ他市町に流れが移ってしまいます。拠点ができた場合には町内における経済波及効果、テナント企業からの法人税、町内の雇用、新拠点との相乗効果による道の駅の売り上げ増、加えて今現在多古町が抱える課題解決、農畜産物の付加価値化、6次化、販路拡大、関係人口の増加、そして移住・定住へとつながる事業だと考えています。町民の多くが大変期待をかけている事業ゆえにしっかりと前に進めなければならぬと考えています。議員の皆様にはご理解いただきたいと思います。



空港の機能強化とともに